

白謡会・春の会番組

平成二十七年五月十七日(日)午前九時二十分始
於・横浜能楽堂舞台(〇四五―二六三―三〇五〇)

連吟

東北

鴨川 昭一
森 庸一
シテ 佐藤 文孝
ワキ 金山 武志
小林 宏三
三村 勉
山森 和夫
河野 健三
青山 圭佑
北島 大靖
越後貫 隆

楊貴妃

高井 倫子
森川 洋子
シテ 佐川 武子
ワキ 小島 洋子
石井 佑卯子
齋藤 三紀
堤 美代子
菅原 秀子
加藤千恵子
糸井多倍子

素謡

国

栖

子方 鈴木 幸子
ツレ 龍田 啓子
シテ 鈴木 紀子
ワキ 池田 純

近藤たね子
初田 敏美
尾崎 純子
山本真理恵
二宮 恵磨
小原九州男
松本 幸子
平戸 仁英
婁澤 賢
國廣 静

俊

寛

成経 関口 節子
康頼 石井 静江
シテ 森 庸一
ワキ 関口 潔

竹川 綾子
三野 仁子
西澤 滋幸
一坂 洋三
中尾 操
菊田 博
平戸 仁英
舎川 重隆
山口 健次
高木 了二

仕舞

鞍馬天狗 盛クセ
敦 野宮
水無月被 女キリ
采女 君
昭君
佐藤 文孝
河野 健三
青山 圭佑
堤 美代子
齊藤千賀子
中尾 操
山口 健次(袴)
橋本 鏡子
平戸 仁英
渡邊 長壽
北島 大靖

素謡

景

清

トモ 三村 勉
ツレ 小林 宏三
シテ 松嶋 總子
ワキ 婁澤 賢

小原九州男
西澤 滋幸
橋本 鏡子
石井佑卯子
内田 節子
西尾まつ枝
平戸 仁英
関口 潔
渡邊 長壽
高木 直美

藤

戸

シテ 山口 健次
ワキ 北島 大靖
ワキツレ 森川 洋子
近藤たね子
齊藤千賀子
齋藤 三紀
糸井多倍子
池田 純
小島 洋子
平戸 仁英
青山 圭佑
河野 健三
高木 了二

連吟

羽衣

シテ 鈴木幸子
高井倫子
鈴木紀子
内田節子
橋本鏡子
関口節子
竹川綾子
國廣静
加藤千恵子

梅

仕舞

シテ 初田敏美
龍田啓子
二宮恵磨
佐川武子
松本幸子
松嶋總子
尾崎純子
堤美代子
齋藤千賀子
齊藤千賀子

知道明寺
玉章
雲雀山
花雀山
富士太鼓

近藤たね子
内田節子
山本真理恵
糸井多倍子
龍田啓子
國廣静

小林宏三(袴)
森川洋子
平戸仁英
関口潔
青山圭佑

素謡

砧

ツレ 高木直美
シテ 西澤滋幸

ワキ 舎川重隆

高井倫子
石井静江
橋本鏡子
一坂洋三
堤美代子
小林宏三
平戸仁英
高木了二
松本幸子
菅原秀子

山

姥

ツレ 齋藤三紀
シテ 三野仁子

ワキ 越後貫隆

鈴木紀子
加藤千恵子
森庸一
金山武志
池田純
山森和夫
平戸仁英
渡邊長壽
舍川重隆
青山圭佑

特別仕舞

西行櫻
藤戸
通小塚
求塚

石井佑卯子
小島洋子
西尾まつ枝
橋本鏡子

河野健三(袴)
渡邊長壽
平戸仁英
高木了二
北島大靖

蟬丸

ツレ 関口節子
森川洋子
鴨川昭一
初田敏美
石井静江
近藤たね子

中尾操
三野仁子
西尾まつ枝
石井佑卯子
内田節子

弱法師

シテ 佐藤文孝
竹川綾子
齊藤千賀子
尾崎純子
三村勉

姥澤賢
白井さつき
高木直美
越後貫隆
山口健次

素 謡

半 部

シテ 小原九州男

ワキ 菅原 秀子

鈴木 幸子
糸井多倍子
松島 總子
金山 武志
二宮 恵磨

佐川 武子
平戸 仁英
北島 大靖
関口 潔
龍田 啓子

安 達 原

シテ 山森 和夫

ワキ 渡邊 長壽
ワキツレ 國廣

静

鴨川 昭一
山本真理恵
河野 健三
小島 洋子
佐藤 文孝

西尾まつ枝
平戸 仁英
一坂 洋三
菊田 博
白井さつき

仕 舞

敦 盛クセ
俊成 度クセ
櫻 川クセ
放 僧クセ
花 筐クセ
船 橋クセ

尾崎 純子
金山 武志
三村 勉
初田 敏美
森川 洋子
加藤千恵子

青山 圭佑 (袴)
石井佑卯子
平戸 仁英
舎川 重隆
渡邊 長壽

附 祝 言

(終演予定 午後五時五十分)

○素謡省略箇所等

国 栖
①二丁表のワキの上歌を省き、ワキ「御急……へ跳ぶ、
②十丁裏のクセを省き、十二丁表の、地謡「少女……へ跳ぶ
俊 寛
①二丁裏の下歌と上歌を省き、三丁表のシテ「後の世……へ跳ぶ
②三丁表の上歌から五丁裏の地留まで省き、トモ「いかに……へ跳ぶ、
景 清
①十二丁裏の上歌を省き、十三丁表の二丁目、ワキ「あら傷……へ跳ぶ
②十二丁裏の上歌を省き、裏のワキ「言語……へ跳ぶ
藤 戸
①四丁表二行目の上歌から物著まで省き、五丁裏の五行目、シテ「いざ……へ跳ぶ
②四丁表の道行から三丁表の最後まで省き、裏のシテ「なう……へ跳ぶ、
山 姥
①十二丁表のクセ省き、十四丁裏の二丁目、シテ「足びき……へ跳ぶ
②十二丁表のクセ省き、十四丁裏の二丁目、シテ「足びき……へ跳ぶ
半 部
省略箇所なし
安達原
①一丁裏二行目のワキの道行から二丁表一杯まで省き、裏のシテ「げに……へ跳ぶ

○連吟の範囲

東 北
楊 貴 妃
羽 衣
梅 丸
蝉 丸
弱 法 師
六丁裏の五行目、ワキ「げにげに……より、クセ留「……知られたり」まで
七丁裏のロンギ、ワキ「さらば……より、クセ留「……別れなりけり」まで
七丁裏のサシ、シテ「然るに……より、クセ留「……妙なる」まで
四丁表の三行目、ワキ「げに理なり……より、中入前まで
三丁表の七行目、ツレ「あら愚か……より、六丁表の地留「……泣き給ふ」まで
九丁表六行目の、ワキ「げにげに……より、十一丁表の地留「……更に狂はじ」まで

注 ①
注 ②
注 ③

① 出演者は、出演曲の10分前迄に切戸口に集合し、地頭の点検・指示を受けて下さい。
② 素謡の地謡には、会員及び会員のご友人の参加は自由です。
③ 昼食は、能楽堂二階の食堂で用意致します。
また、楽屋での給茶は省略しますので、ペットボトルなど飲み物をご持参下さい。
会終了後、野毛の「一の蔵」にて懇親会を催します。